

H143		環境政策論	
英名科目名	Environmental Policy and Administration		
大学名	京都府立大学		
連絡先	学務課教務担当 TEL:075-703-5118		
担当教員	山川 肇（生命環境学部 環境デザイン学科教授）		
開講期間	2021年09月27日(月)～2022年01月24日(月) 5講時 16時10分～17時30分(毎週月曜日) 冬期休業 2021/12/25(土)～2022/01/05(水)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	月曜日 5講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	授業への参加状況、レポートに基づき総合的に評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	67,600円（入学考査料9,800円、入学料28,200円、授業料29,600円）		
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p><b>【授業概要】</b> この講義では、主に環境政策の考え方や手法を具体例等を通して解説する。ただしこの授業では環境政策を広く捉え、市民・NPOや企業の環境問題の改善に向けた他者への働きかけも、環境政策と捉える。現在は、さまざまな企業活動や生活行動が環境問題と関係しており、私たちは常に環境政策の対象になっているといってもよい。同時に、公務員にならずとも職場や地域において、上記の意味における環境政策の主体になる機会も多いと考えられる。こうした観点からこの授業では、環境政策の考え方を解説し、環境政策の手法について講義する。</p> <p><b>【到達目標】</b> 受講生は、環境政策の基本的な考え方、手法を理解する。また環境政策論と周辺分野における専門用語の理解を深め、環境問題を巡る社会の動きについて考察するための基礎を身につける。さらに授業の内容を参考に、各自で事例を分析しレポートを作成することを通して、環境問題の解決に向けて働きかける能力を発展させる。</p>			
講義スケジュール			
第01回 イン트로ダクション 第02回 公害の規制政策とPPP 1：いおう酸化物汚染の事例 第03回 公害の規制政策とPPP 2：2つのPPP 第04回 行政の環境政策を立案する 第05回 経済的手法の導入と外部不経済 1：ごみ有料化の事例 第06回 経済的手法の導入と外部不経済 2：外部不経済の考え方 第07回 企業の環境政策とマーケティング：いろはすの事例 第08回 市民・NPOの環境政策と社会的ジレンマ 1：社会的ジレンマと環境配慮行動 第09回 市民・NPOの環境政策と社会的ジレンマ 2：リサイクル運動の事例 第10回 フードバンク活動とNPOの持続可能政策 第11回 容器包装リサイクル法とEPR政策 1 第12回 容器包装リサイクル法とEPR政策 2 第13回 持続可能性とSDGs 1 第14回 持続可能性とSDGs 2 第15回 まとめ			
教科書	なし		
参考書	授業中にその都度示す。		